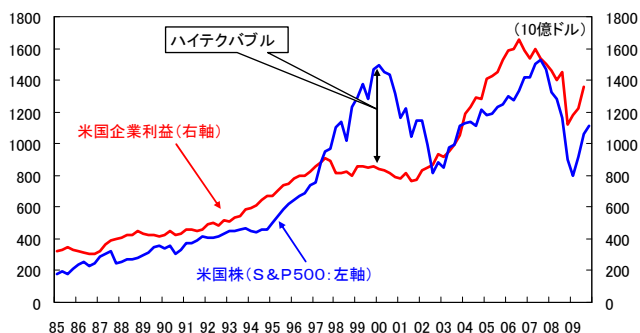


## 米国の企業利益と株価および雇用の関係

- ✓ 米国企業の7～9月期の企業利益は5年ぶりの高水準だが、金融部門の急回復が主導、他部門は依然低調な伸びに留まった。
- ✓ 非金融部門の利益は、雇用コストの削減を通じたものであり、この環境の中では、雇用の本格回復は見込めない。

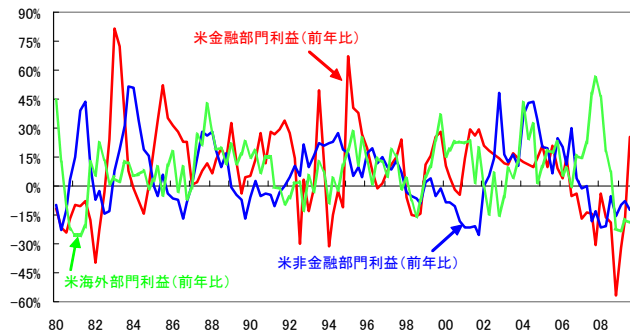
米国の企業利益は2009年7～9月期(第3四半期)に1兆3600億ドルと過去5年間で最大となりました。米国株はこれを反映し、堅調に推移しています。株価は長期的な観点に立つと、ハイテクバブルの時期を除き、ほぼ企業利益に連動していることが見てとれます(図表①参照)。ただし、今期の企業利益の上昇は、金融市場の回復を背景としたトレーディングの好調に支えられた金融部門の業績回復が主導しており、非金融部門や海外部門の利益は依然、低調な状態となっていることがわかります(図表②参照)。非金融部門の利益には改善の兆候も見えてとれますが、企業経費の約3分の2を占める雇用コストの削減を通して利益を上げようとしている状態であり、この環境下では雇用の拡大は見込めず、家計の需要増を伴う企業の収益環境改善は見込めそうにありません(図表③参照)。

【図表①】



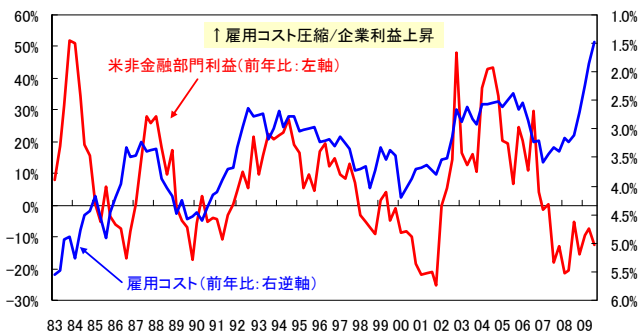
出所:ブルームバーグ

【図表②】



出所:ブルームバーグ

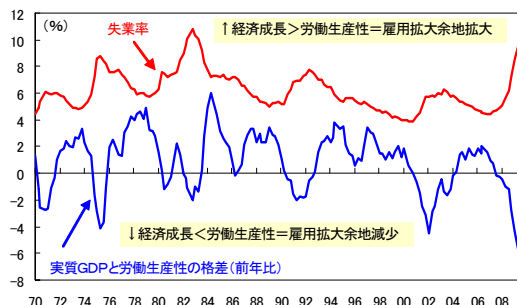
【図表③】



出所:ブルームバーグ

労働力1単位に対してどれだけの価値を生産できたかを示す労働生産性の伸びが経済成長の伸びを上回った状態が継続しています。このことも、ある一面では、企業の雇用コスト削減努力の動きを表しています。この環境下では雇用の本格回復を望むのは難しいと考えられます(図表④参照)。

【図表④】



出所:ブルームバーグ

## ご留意いただきたい事項

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は値動きのある資産を投資対象としており、基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割込むおそれがあります。ファンドによって投資対象資産や投資規制、投資対象国などが異なるため、リスクの内容や性質が異なります。また、投資信託のお申込時、保有期間中、およびご換金時には費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている各指数、統計資料等の著作権・知的財産権その他一切の権利は、各算出先、公表元に帰属します。
- 当資料に記載されている内容は発行日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。
- 当資料のグラフ・数値等は過去の実績であり、将来の市場環境の変動や投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号  
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

